



農業技術センターニュース

目次					
	高知県で発生しているアイリスイエロースポットウイルス(IYSV)の系統と病原性の関係	… 1		ナシ園におけるフタモンマダラメイガの被害実態	… 5
	中山間地域の雨よけほ場における養分蓄積実態	… 2		ナシ園におけるフタモンマダラメイガの発生消長および有効薬剤の探索	… 6
	ヒートポンプエアコン利用によるオリエンタル系ユリの夜冷栽培	… 3		辛味果の発生が少ないシシトウの品種育成の取り組み	… 7
	オリエンタル系ユリの夏期夜間冷房栽培におけるヒートポンプエアコンの利用	… 4		土佐茶を活かす水出し方法	… 8

高知県で発生しているアイリスイエロースポットウイルス (IYSV) の系統と病原性の関係

IYSVには2つの系統があり、一般にオランダ系統、ブラジル系統と呼ばれています。四国で発生している系統を調査した結果、徳島県、香川県および愛媛県ではブラジル系統のみが発生しているのに対して、高知県ではオランダ系統のみが発生していることが明らかになりました。

高知県でのIYSVによる被害はニラでは甚大ですが、ネギではほとんどありません。一方、同じ四国でも他の3県ではネギでも甚大な被害が発生しています。このことから、IYSVの系

統間で病原性が異なるのではと考え、IYSVの2系統をニラとネギに接種して発病状況を調査しました。その結果、オランダ系統を接種すると、ニラでは発病が



写真 ニラとネギのIYSVの病徴

多く見られましたが、ネギではあまり見られませんでした。一方、ブラジル系統を接種すると両作物ともによく発病が見られました。

これらの結果から、高知県で発生しているオランダ系統のネギに対する病原性が弱いことが、県内のネギでIYSVがほとんど発生しない要因と考えられました。今後、本県でのブラジル系統の発生に注意が必要です。

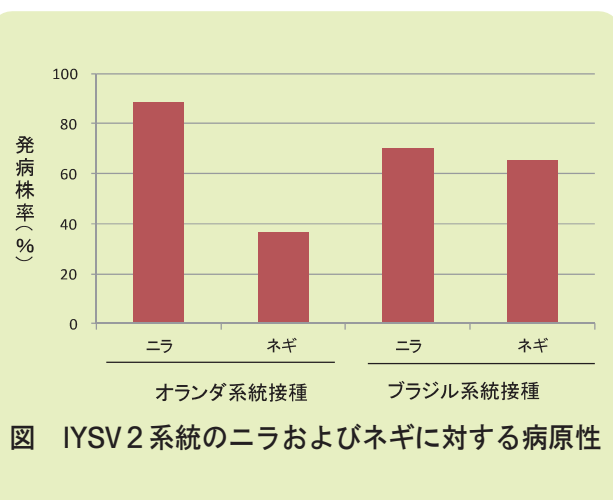


図 IYSV 2系統のニラおよびネギに対する病原性

(病理担当 下元祥史 088-863-4915)